

対象学年	2 学年	科目名	日本語会話演習 IV	担当名	山口 亜渚
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	2単位 30 時間

到達目標	上級文型および待遇表現を使った対人コミュニケーション能力を身につける。
学習内容	日本語学校の日本語の授業の中ではあまり学ばなかったホテルや観光に関する話題、コミュニケーションを上級文型を使って、理解、説明ができるようになるための授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点+定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	授業は復習型の授業です。予習ではなく、授業後にならず新しい言葉や知識を自分で振り返りを行ってください。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	「すぐに」の意味の文型を使い分ける	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
2	初級から上級の表現が使えるようになる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
3	いつもと違ってネガティブを装ってみる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
4	問題の報告ができる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
5	少しの違いを理解できる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
6	強い気持ちを文型を使って表現できる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
7	想像力をふくらませて文を作ることができる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
8	メールやスピーチで日本人がよく使う表現が使える	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
9	文型を使い紹介文を作ることができる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
10	文脈に合ったリアクションができる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
11	どんな気持ちで文型を使っているかがわかる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
12	言い換えて表現することができる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
13	具体的な評価ができるようになる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
14	意見の表現を使い分けられる	オリジナル教材	授業で学んだことの復習は必須です。
15	定期試験		授業1～14で学んだことを復習しておくこと。